

造船統計速報（平成 25 年 1 月分）

平成 25 年 3 月 12 日  
国土交通省総合政策局情報政策本部  
情報政策課交通統計室

1. 概況

平成 25 年 1 月分の造船主要 52 工場の鋼船建造実績は、起工 20 隻、85 万 2 千 G/T、しゅん工 48 隻、197 万 G/T、しゅん工船価 2,067 億円、生産指数（注 2）119.8 であり、生産指数の前年同月比は、4.3%減であった。

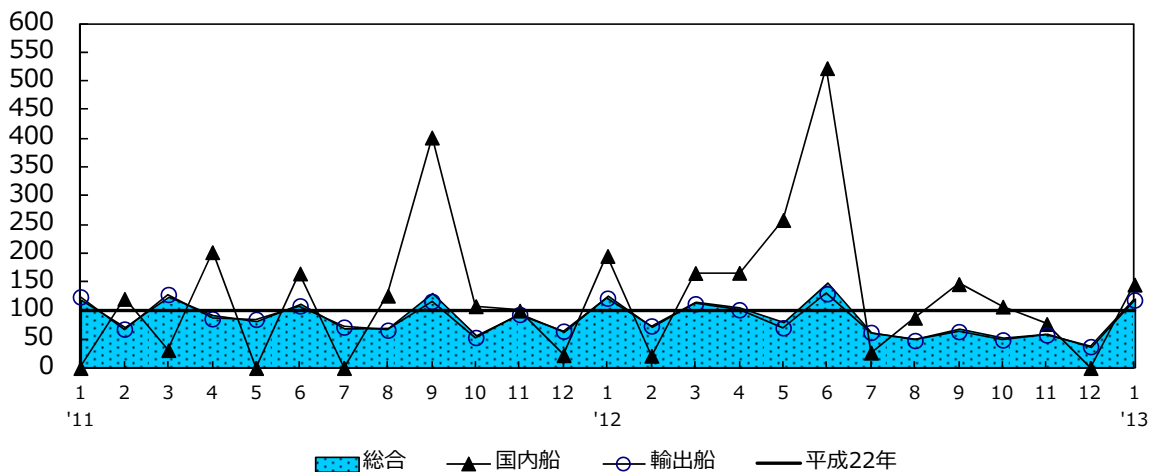
このうち、国内船のしゅん工実績は、合計 3 隻、7 万 8 千 G/T、生産指数は 145.3 であった。内訳は、一般油送船 2 隻、その他の貨物船 1 隻であった。

また、輸出船のしゅん工実績は、合計 45 隻、189 万 2 千 G/T、生産指数 118.6 であった。内訳は、貨物船は 37 隻で、そのうち、一般貨物船は 16 隻（パナマ・リベリア等向け）、鉱石専用船は 1 隻（リベリア向け）、ばら積み船は 14 隻（パナマ・イギリス等向け）、自動車専用船は 1 隻（シンガポール向け）、鉱石兼ばら積み船は 3 隻（パナマ・マーシャル諸島向け）、その他貨物船は 2 隻（パナマ向け）であった。油送船は 7 隻で、そのうち、一般油送船は 3 隻（パナマ・キプロス等向け）、LPG 船は 3 隻（パナマ・シンガポール向け）、化学薬品船は 1 隻（リベリア向け）であった。その他の船は 1 隻（リベリア向け）であった。

鋼船修繕実績は、106 隻、工事金額 32 億円であった。

2. 生産指数の推移 平成 22 年(2010)=100

生産指数の推移 平成22年(2010) = 100



注 1 本速報は、造船の生産等実績の早期把握に資するため、基幹統計「造船造機統計」の造船調査対象工場のうち主要工場の主要項目の生産等実績について先にとりまとめ速報化したものである。確報値は追って公表される「造船統計月報」を参照されたい。

注 2 生産指数は、当該月のしゅん工船価（合計）を、基準時（平成 22 年）のしゅん工船価（合計）の月平均値で除して求めた指数である。また、累計値の生産指数は、当該月までのしゅん工船価（合計）を、基準時（平成 22 年）のしゅん工船価（合計）の月平均値に当該月数を乗じて求めた数字で除して求めた指数である。なお、本速報の生産指数は、主要工場分のみ速報値である。

注 3 本速報における国内船及び輸出船は船舶の発注者の国籍により区分される。

お問い合わせ先：総合政策局情報政策本部情報政策課交通統計室  
電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1567  
担当：川口（内線：28-742） 関根（内線：28-743）

### 3. 鋼船建造実績

(単位：隻、G/T、千円、 指数：平成22年平均＝100)

用途別		起工		しゅん工				
		隻数	G/T	隻数	G/T	船価	生産指数	前年同月比
合計		20	851,542	48	1,969,801	206,660,601	119.8	95.7
国内船	小計	0	0	3	77,969	11,913,000	145.3	—
	貨物船	0	0	1	11,400	..	—	—
	貨客船	0	0	0	0	0	—	—
	客船	0	0	0	0	0	—	—
	自動車航送船	0	0	0	0	0	—	—
	油送船	0	0	2	66,569	..	—	—
	漁船	0	0	0	0	0	—	—
	その他	0	0	0	0	0	—	—
輸出船	小計	20	851,542	45	1,891,832	194,747,601	118.6	—
	貨物船	19	836,792	37	1,529,018	150,353,228	—	—
	油送船	1	14,750	7	358,755	..	—	—
	その他	0	0	1	4,059	..	—	—

### 4. 鋼船修繕実績

	隻数		工事金額(千円)	
合計	93	(13)	2,496,495	(738,216)
国内船	83	(13)	2,243,190	(738,216)
外国船	10	(0)	253,305	(0)

注4 結果表中の「..」については、秘密保護上公表しないものである。

注5 鋼船修繕実績における( )内は、排水トン表示による船舶で、外数である。